

平成30年度 下呂市立金山病院改革プランの点検・評価表

1. 収支計画

	平成29年度		平成30年度		点 検 (平成30年度の実績値等の点検)
	実績値	計画値 a	実績値 b	比 較 b/a (%)	
医業収益 (百万)	1,184	1,252	1,152	92.0	他病院との連携を図りながら病床利用率の向上を目指すため、一般病棟内に地域包括ケア病床8床を設置したが、入院患者数は前年度比較2,707人の減となった。これは、診療報酬改定に伴い療養病床の入院区分を引き上げたことにより入院対象者が減ったこと、整形手術において大学医師の派遣が困難となったことなどが主な要因である。 費用における前年度比較では、職員給与費で看護師や検査技師の増員、抗生薬など高額薬剤の使用による材料費の増、委託費では遠隔読影を新たに始めたことや、光熱水費についても燃料費調整額の恩恵が減少したことにより増となった。なお、計画値との比較では計画内に収まっている。 以上のことから、費用は計画値内であるものの、収益が約1億円の減となっており、収支は赤字となった。
医業外収益 (百万)	278	269	276	102.6	
総収益 (百万)	1,462	1,521	1,428	93.9	
医業費用 (百万)	1,403	1,457	1,425	97.8	
うち職員給与費 (百万)	808	877	824	94.0	
うち材料費 (百万)	173	198	182	91.9	
うち委託費 (百万)	142	151	147	97.4	
うち光熱水費 (百万)	25	26	26	100.0	
うち減価償却費 (百万)	117	111	110	99.1	
医業外費用 (百万)	56	56	58	103.6	
総費用 (百万)	1,459	1,513	1,483	98.0	
(総収益－総費用) (百万)	3	8	-55	—	

※金額は決算統計の値とする。

2. 医療機能等指標に係る数値目標

	平成29年度		平成30年度		点 検 (平成30年度の実績値等の点検)
	実績値	計画値 a	実績値 b	比 較 b/a (%)	
時間外救急患者数 (人)	1,695	2,000	1,852	92.6	・時間外の救急患者数は昨年に対し157人増えたものの計画値には届かなかった。救急車による搬入では計画値に対して18人の増となった。 ・手術件数は昨年に対し5件の増、計画値の90%となった。 ・研修医の受け入れについては、大学などの連携施設との調整や研修医の対象数などにより当院への派遣が下回った。また同様に、実習生の受け入れも昨年度を下回ったものの、計画人数では計画を上回る受け入れとなった。
救急車受入件数 (件)	205	210	228	108.6	
手術件数 (件)	238	270	243	90.0	
臨床研修医受入数 (人)	4	8	4	50.0	
医学生実習受入数 (人)	8	4	5	125.0	
健診受入数 (人)	1,607	1,700	1,535	90.3	

3. 財務に係る数値目標

	平成29年度		平成30年度		点 検 (平成30年度の実績値等の点検)
	実績値	計画値 a	実績値 b	比 較 b/a (%)	
経常収支比率 (%)	100.2	100.5	96.3	95.8	・医業収支比率については収入が減った一方、費用が増えたことにより計画値に対し4.4%減少した。また、経常収支比率も同様に4.2%減少し、100%を下回った。 ・医業収益の減に対して、職員数の増や給与改定などにより給与費が増えたため、職員給与比率は計画値で1.5%、昨年実績値で3.3%上昇した。
医業収支比率 (%)	84.4	85.9	80.8	94.1	
職員給与比率 (%)	68.2	70.0	71.5	102.2	
材料費対医療収益比率 (%)	14.61	15.81	15.80	99.93	

備考 ①経常収支比率: (医業収益＋医業外収益) ÷ (医業費用＋医業外費用) × 100

②医業収支率: 医業収益 ÷ 医業費用 × 100

③職員給与比率: 職員給与費 ÷ 医業収益 × 100

④材料費対医療収益比率: 材料費 ÷ 医業収益 × 100

4. 経費削減に係る数値目標

	平成29年度	平成30年度			点 検 (平成30年度の実績値等の点検)
	実績値	計画値 a	実績値 b	比 較 b/a (%)	
委託費の対医業収益比率 (%)	12.0	12.0	12.8	106.3	・医業収益の減に対して、委託費及び光熱水費が増えたため、対医業収益比率は計画値及び前年度をやや上回った。 ・前年に対し10品目増。
光熱水費の対医業収益比率 (%)	2.1	2.1	2.3	107.5	
ジェネリック薬品の使用薬品数 (品)	76	68	86	126.5	

※AG(オーソライストジェネリック)=先発医薬品と同一のジェネリック。

5. 収入確保に係る数値目標

	平成29年度	平成30年度			点 検 (平成30年度の実績値等の点検)
	実績値	計画値 a	実績値 b	比 較 b/a (%)	
一般病棟病床利用率 (%)	75.9	80.0	73.9	92.4	・外来患者数の減少に伴い入院患者数が減少となった。また、整形手術における大学医師の派遣が困難となったことなどにより、一般病棟は前年度より2.0%減り計画値の80%を下回った。 ・療養病棟は、病棟機能を見直し医療区分の高い入院患者となったため、前年度より13.1%減り計画値の77.7%を大きく下回った。 ・人間ドックは計画値の2倍以上の受け入れができた。
療養病棟病床利用率 (%)	69.4	77.7	56.3	72.5	
人間ドック受入数 (人)	58	30	63	210.0	

③病床利用率: 延入院患者数÷(許可病床数×365日)×100

6. 経営の安定に係る数値目標

	平成29年度	平成30年度			点 検 (平成30年度の実績値等の点検)
	実績値	計画値 a	実績値 b	比 較 b/a (%)	
常勤医師数 (人)	8	8	8	100.0	・常勤の医師数を現状維持し、看護師は5名増(正看1名増、臨時4名増)となり、看護師の計画人数確保を達成した。
看護師数 (人)	59	62	64	103.2	
理学療法士 (人)	5	5	5	100.0	・理学療法士、作業療法士は現状維持。
作業療法士 (人)	3	3	3	100.0	

7. 数値目標達成に向けての具体的な取組

No.2

項 目	点 検	評価・意見・提言等
(1)「1.収入計画」から「6.経営の安定に係る数値目標」までの項目 (2)事業規模等の見直し ①金山病院整備基本計画に基づき、一般病床50床、療養病床49床を維持する。 (3)収入確保への取組 ①施設基準の見直し ② 病床利用率等の確保 (4)経費削減への取組 ①業務委託の内容等見直しを行う ②複数業者による競争入札を行う ③ 光熱水費の抑制を図る (5)再編・ネットワーク化に係る計画 市内にある2つの公立病院は、お互いの機能役割分担を図り、この地域の医療体制の構築を図る。 (6)経営の見直し ①経営の黒字化への取り組み ②経営形態の検討	各点検内容のとおり (2)について 高齢者人口の増加を踏まえ、現在の病床数を維持した。 (3)について ①医師事務作業補助体制加算1、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算2、地域包括ケア入院医療管理料2、小児食物アレルギー負荷検査、仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術を取得。 ②一般病棟では地域包括ケア病床を8床開設して病床利用率の改善を図ったが、療養病床においては、診療報酬改定に伴い入院区分の引き上げを行ったことにより入院対象者が減となった。このことから、病床利用率は減少した。 (4)について ①契約内容に過大なものが無いか精査したが、最低賃金の引き上げに伴う委託料が増となった業務があった。 ②機器購入等において複数の業者による競争によって購入価格の低減に努めた。 ③最大使用電力に注意し電気使用料の削減に努めたが、冬期に暖房等の使用が一時的に集中しデマンドを超える使用量を記録した。また、燃料費調整額の恩恵が減少し費用が増となった。 (5)について 脳神経疾患については、下呂温泉病院へ紹介するなど機能役割分担を図っている。 (6)について ①(3)及び(4)のとおり ②一部適用から全部適用へ変更した病院への先進地視察などの平成29年度までの取り組みを総合的に検証した結果、取り組みを引き継ぎ、黒字経営となる様努力し、その後改めて検討することを確認した。	・経費削減の取り組み努力されている。 ・ジェネリックの使用実績が上がっている。 ・予防の観点から人間ドックを積極的に受診してもらうべき。 ・療養病床にどのような患者を送っているのか開業医としての立場からすると難しくやりづらい。 ・収益を増やすためには、入院患者を増やさないといけない。